

日本ギフト大賞2021 特別賞



日本ギフト大賞

今回の日本ギフト大賞2021では地域の特色や文化、伝統なども感じられる「都道府県賞」のほかに「地方創生貢献賞」「復興支援賞」「ステイホーム貢献賞」も選出した。

■地方創生貢献賞

『駅の有効利用』 JR東日本



【プレゼンター】

野村ホールディングス
取締役兼代表執行役社長 グループCEO
永井 浩二氏



上越線土合駅に2020年10月誕生した無人駅グランピング施設「DOAI VILLAGE」
(群馬県水上町)



【受賞者】

JR東日本
常務取締役 事業創造本部長
喜勢 陽一氏

駅は地域における生活拠点でありコミュニティ機能の拠点。JR東日本は、生活インフラの維持、地域の活性化を通じた地方創生をめざして、新しい駅の在り方を実施し貢献してきた。今回、駅の有効利用が評価されて、地方創生貢献賞の受賞が決まった。

2020年10月に群馬県みなかみ町の上越線土合駅に無人駅グランピング施設「DOAI VILLAGE (ドアイ ビレッジ)」が誕生した。電車を眺めながら宿泊する体験が可能で、同社子会社で企業が外部のスタートアップ企業に直接出



東北エリア初の駅ナカカフェオフィス事業「STATION WORK」は2020年3月に仙台駅内で開設した

資するCVC (コーポレート・ベンチャー・キャピタル) のJR東日本スタートアップ (港区高輪、柴田裕社長) とVILLAGE INC (静岡県下田市、橋村和徳社長) が協業する。土合駅の下りホームは上越線のトンネル内にあり、駅舎から標高差70m、486段の階段を下るため、「日本一のモグラ駅」と呼ばれている。ドアイビレッジは1室2名定員の宿泊施設を4室完備するほか、屋外サウナ施設なども展開する。実際に利用してきた駅務室を改装した駅舎内喫茶などを通じて地域の活性化にも寄与する、無人駅者の新たな価値創造を提供する。

JR東日本はグループ経営構想「変革2027」の下、ベンチャー企業や優れた事業アイデアを有する方々と共に、「JR東日本スタートアッププログラム」を通じて社会課題の解決や豊かで幸せな未来づくりを目指している。同プログラムでは、駅や鉄道などの経営資源、グループ事業における情報資源を活用したビジネスやサービスの提案を募り、アイデアのブラッシュアップを経て、新た

な価値を創出する。2017年度の開催から81件を採択、鉄道事業やIT事業など幅広い分野の実証実験をおこない、「DOAI VILLAGE」のように実用化に至った事例も誕生している。

2020年度は社会課題の解決や豊かで幸せな未来づくりを目標に3つのテーマ「地方創生」「観光・インバウンド」「スマートライフ」を設定し、スタートアップ大賞には「Suicaを活用したスマートビル入退館システムの開発」のプランが選ばれた。

千葉県鴨川市内にある内房線江見駅は、JR東日本と日本郵便が20年8月に郵便局窓口業務と駅窓口業務を一体運営した事業活動を始めた。同市内の江見郵便局を駅敷地内に新築した郵便局舎に移転し、局内にて駅窓口業務を取り扱う。連携を象徴として郵便局前に設置する郵便ポストについて、かつて郵便物を輸送していた郵便・荷物電車をイメージしたラッピングポストにデザインした。

JR東日本が2019年8月から本格的に事業化した駅ナカカフェオフィス事業



JR東日本と日本郵便が郵便窓口と駅窓口を一体化して誕生した内房線江見駅 (千葉県鴨川市)

「STATION WORK (ステーションワーク)」を首都圏中心に展開してきたが、20年3月には東北エリア初となる仙台駅内に2カ所開設した。ボックスタイプのステーションワークは、同駅内では7時から21時30分まで利用が可能。決済はJREポイントに登録したICカードのSuicaでの決済が可能でポイント付与も行われる。コロナ禍での利用もあり抗ウイルスコーティングを施している。

JR東日本では、駅の生活の拠点およびコミュニティ機能としての役割を強化しつつ、駅の賑わい創出を通じて地方創生へ貢献を果たしていく。

■ステイホーム貢献賞

『Micro Cotton (マイクロコットン)』 ONODA



【プレゼンター】

早稲田大学
教育学部 教授
藁谷 友紀氏

国内初の「MADE IN GREEN」ラベルが付けられたインド発のブランド「マイクロコットン」



【受賞者】

ONODA
代表取締役社長
小野田 成良氏

ONODAは2003年の設立当初からサステイナブル (持続的) な事業に高い意識を持ち、Micro Cotton (マイ

クロコットン) の卸販売をしている。マイクロコットンは繊維製品の安全「スタンダード100認証」や環境や働く人にも

配慮した「STeP認証」、持続可能な証として国内で初めて『MADE IN GREEN』ラベルが付けられたインド発の

ブランドだ。南インドの自然豊かな大地で栽培されている綿花のうちわずかな数

■復興支援賞

『サントリー東北サンさんプロジェクト』 サントリーホールディングス



【プレゼンター】

東急
取締役会長
野本 弘文氏



【受賞者】

サントリーホールディングス株式会社
執行役員 コーポレートサステナビリティ推進部長
福本 ともみ氏

サントリーグループは東日本大震災復興支援として2011年に「サントリー東北サンさんプロジェクト」を立ち上げている。同グループは東日本大震災発生直後から被災地の早期復興を願い「漁業の復興支援」「未来を担う子どもたちの支援」「文化・芸術・スポーツを通じた支援」「チャレンジド・スポーツ（障がい者スポーツ）の支援」の4つの活動を柱に、2021年3月現在で総額108億円の規模で復興支援活動を10年間にわたり継続して取り組んでいる。

東日本大震災から10年の節目を迎えた2021年は岩手県、宮城県、福島県の未来を担う子どもたちの更なる支援へ、同グ

ループが建設費を支援した岩手県山田町ふれあいセンター「はびね」、宮城県石巻市子どもセンター「らいつ」、福島県相馬市「相馬市中央児童センター」などの7施設を寄贈した。このほか、ノートパソコンやタブレット端末など総額450万円相当の贈呈も予定している。

過去の活動では「漁業の復興支援」は岩手県と宮城県の漁業支援として小型漁船や大型遠洋マグロ漁船などの取得費用の一部や沿岸漁業の支援、「未来を担う子どもたちの支援」では、青森県も加えた4県の水産高校7校の被災生徒を対象に「サントリー・SCJ（セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン）水産業復興奨学

金」を実施、延べ2453人に給付などをした。このほか、米国大使館と米日カウンシル・ジャパンと協働で「TOMODAC HIサントリー音楽奨学金」を創設、米国の音楽大学に入学する被災地の学生を優先して支援、東北出身者3人を含む計10人の学生を決定した。

「文化・芸術・スポーツを通じた支援」では、ウイーン・フィル&サントリー音楽復興基金を設立し、音楽活動の助成や被災地でのコンサート開催などの展開、仙台市と福島県郡山市でサントリー美術館の所蔵品展示のほか、サントリーグループのパレーボール部とラグビー部が被災地の子どもたちを対象にしたスポーツ教室を実施した。

「チャレンジド・スポーツ（障がい者スポーツ）の支援」は選手の育成と強化を支援する目的で「チャレンジド・アスリート奨励金」を実施、個人部門に延べ249人、団体部門に129団体の合計2億600万円を支給決定した。このほか車いすバスケットボール選手などチャレンジド・アスリートによる被災地での講演や競技体験会、東北3県からの要望を踏まえた施設改修、競技用具寄贈などにも取り組んだ。

21年2月には、東北を想い、郷土愛やチャレンジ精神あふれる未来の東北への



挑戦を応援する「みらいチャレンジプログラム」を立ち上げた。

みらいチャレンジプログラムは地域の復興をめざして新たな活動を立ち上げようという個人と団体の活動を奨励金の支給などを通じて支援する内容で、応募する活動が岩手県、宮城県、福島県内での活動であり、同3県に主たる活動拠点であることなどが応募対象となる。

5月10日まで応募を受け付け、活動期間は7月1日から22年6月30日までの1年間で、給付規模は100万円を上限に総額3000万円を予定する。審査は有識者や関連団体などによる審査委員会が担い、書面審査を通過した応募者・団体は現地調査や本人へのヒアリング審査などを実施する場合もある。詳しくは、みらいチャレンジプログラムサイトまで。

◆みらいチャレンジプログラム
<https://www.suntory.co.jp/company/csr/support/mirai/>

➡ %のみ採れる希少な綿花で、その年の初摘みのものしか採用しないというこだわりを持つ。マイクロコットンは繊維質が比較的に多く含まれるため、繊維の中に空気を多く含むことができるという特徴がある。そのため湿気に強く、吸水性と通気性に富む特性があるほか、繊維質が多いため、ループパイルに弾力が出て、ソフトだけど「へたらない」タオルである。希少な超長綿を80年の技術で織成されるタオルは優れた吸水性と耐久性、独自

のふんわりしなやかな肌ざわりを実現する。長い歴史で培った経験と特殊な技術により創り出される独特のふんわりとしなやかな風合いは、ドバイの7つ星ホテル「バージ・アル・アラブ」を始めとして、世界の超一流のホテルや「ハロッズ」、「メイシーズ」などの高級百貨店で取り扱われるほどのブランド力があり、世界40ヶ国以上のセレブリティに愛される、最高級タオルだ。包み込むようなボリュームと環境にも配慮したタオルが、



ふんわりとした心地で世界最高級ホテルや百貨店で取り扱われている

「おうち時間」のリラックスタイムを演出する。また、同社はオリジナルセレクトショップ「Gluxury（グラジュリー）」を3月31日に中央区銀座のGINZA A SIXに開業した。「Green（環境）&

Luxury（優雅さ）」をコンセプトにマイクロコットンのほか、世界各国から厳選した環境に優しく高品質なブランドを取り揃える。



マイクロコットンは全体の数%しか取れない希少な綿花で製造する

【Gluxury（グラジュリー）】

- ▶住所：東京都中央区銀座6丁目10-1 GINZA SIX地下1階
- ▶営業時間：10時30分から20時30分
- ▶問い合わせ：080・7882・1417